

クラウドとクラウド利用のための ネットワークについてのアンケート 【集計報告】

2015/2/28

株式会社アーツネットワーク

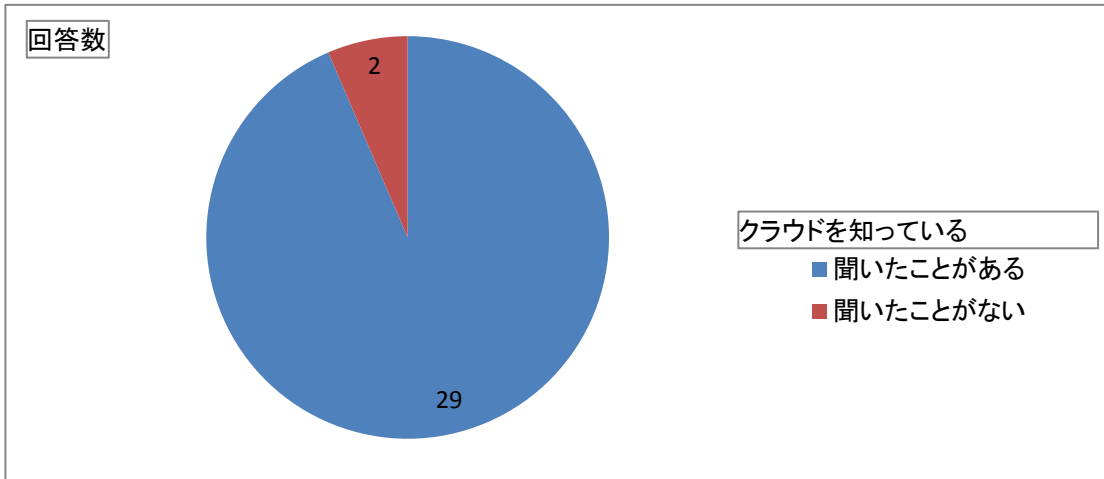


調査概要

調査方法	電子メールで依頼 WEBにて回答(記名式)
調査日時	2014年12月16日～2015年1月31日
調査対象	弊社(株式会社アーツネットワーク)の顧客及び弊社メールマガジン購読者 回答者30社(31人)
調査目的	クラウドサービスの利用状況、動向を把握する クラウドサービス利用のためのネットワークの故障等についての実態と要件を把握する
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・クラウドコンピューティングの認知状況、利用状況・クラウドコンピューティングの利用目的・分野・クラウド利用のためのネットワークについて・今後のクラウド利用の意向・興味の度合い・貴方および貴方の会社の属性
回答者プロフィール	回答者の企業の属性については、調査項目<貴方および貴方の会社の属性> への回答による ※東海地区を中心とする、中堅・中小企業主体の法人 ※VPNを利用している、複数拠点を持つ法人が多い

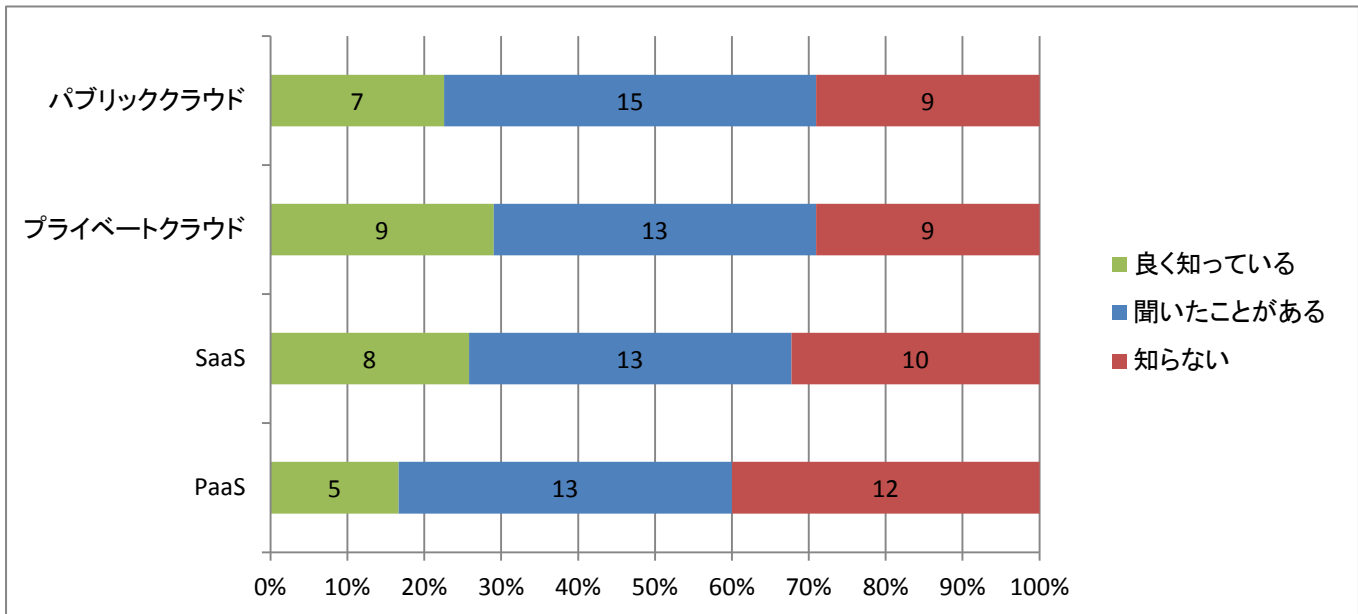
<クラウドコンピューティングの認知状況、利用状況>

Q1) 「クラウドコンピューティング」及び「クラウドサービス」という言葉について、ご存知でしたか。



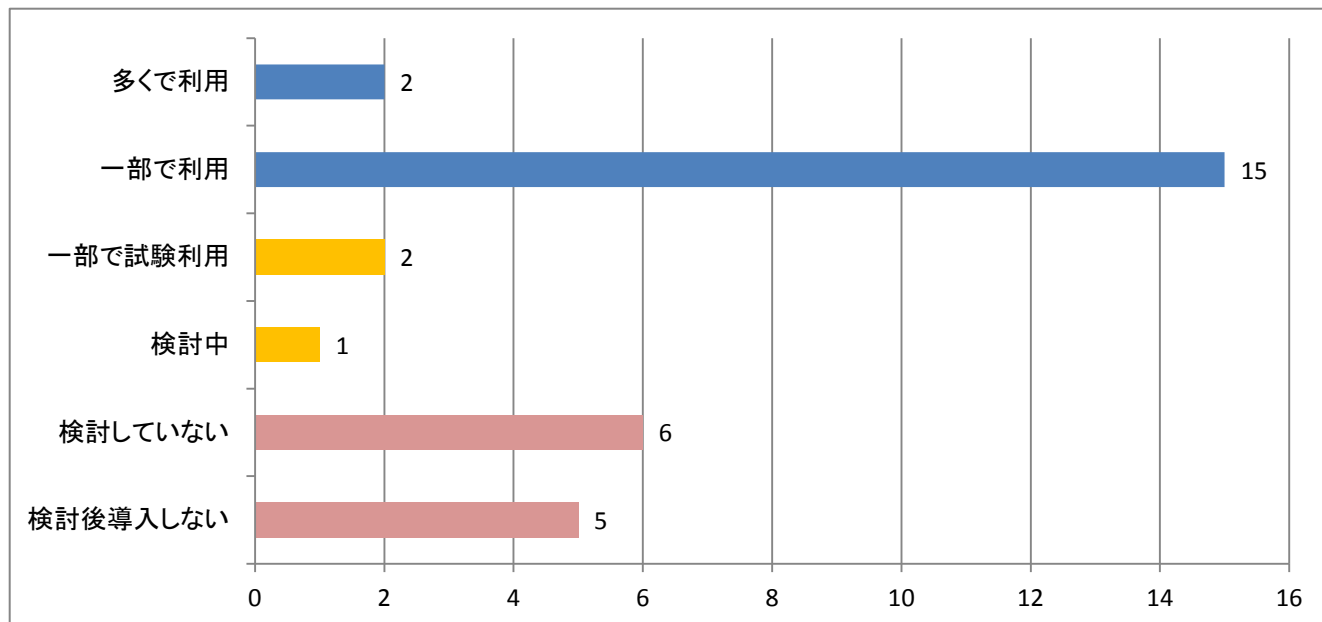
「クラウドコンピューティング」及び「クラウドサービス」という言葉についての認知度は高く、93%以上の方が「聞いたことがある」と回答。注目度の高いキーワードと言える。

Q2) 以下に示す「クラウドコンピューティング」の概念、技術について、あなたの認知状況を選んでください。



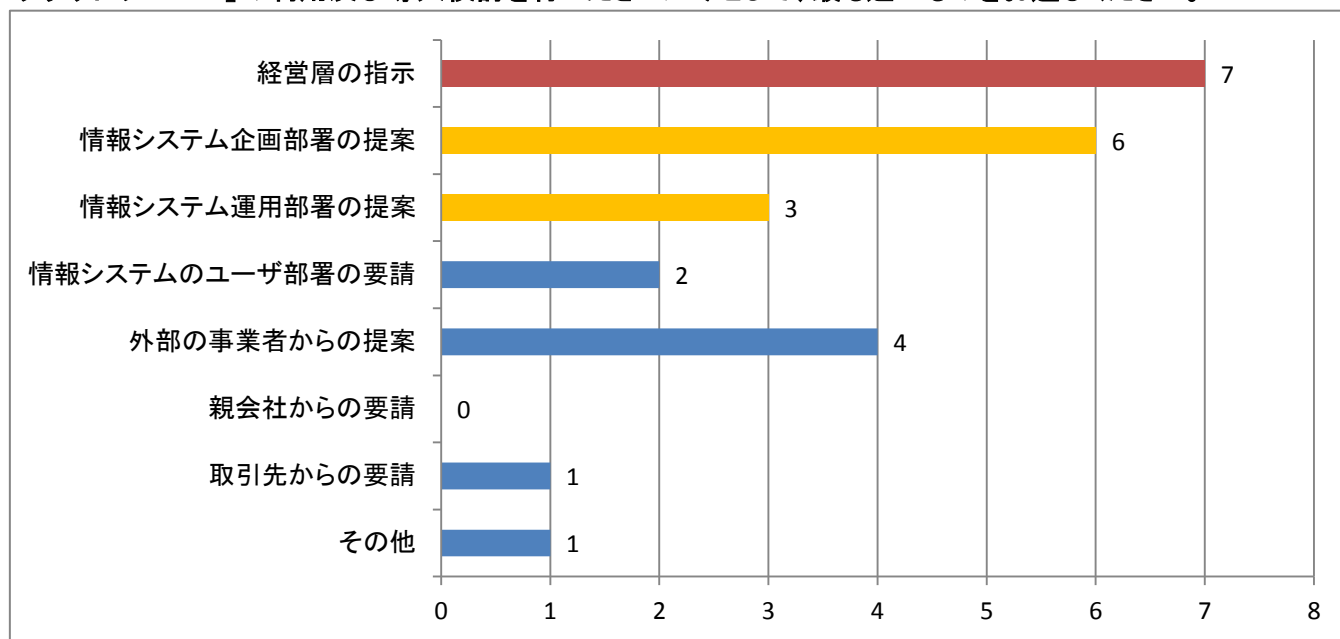
4つのキーワード全般として、Q1)「クラウドコンピューティング」及び「クラウドサービス」の認知度に比べて、認知度は低くなっており、クラウドの区別については、60~70%程度の認知率。特に、PaaSについての認知度が低い。

Q3) 貴社における「クラウドサービス」の利用状況について、最も良くあてはまる項目を一つだけ選んでください。



「一部で利用」が、15人(48%)と多数を占める。
 「多くで利用」は、2人(6%)と、まだ少数である。
 「一部で利用」・「試験利用中」・「検討中」が、今後どのようなペースで本格利用に進むのか、あるいは、本格導入に進まないのかは、引き続き、注目に値する。
 逆に、「検討後導入しない」・「検討していない」は、合わせて11人(35%)と、1/3を超えた点も見逃せない。

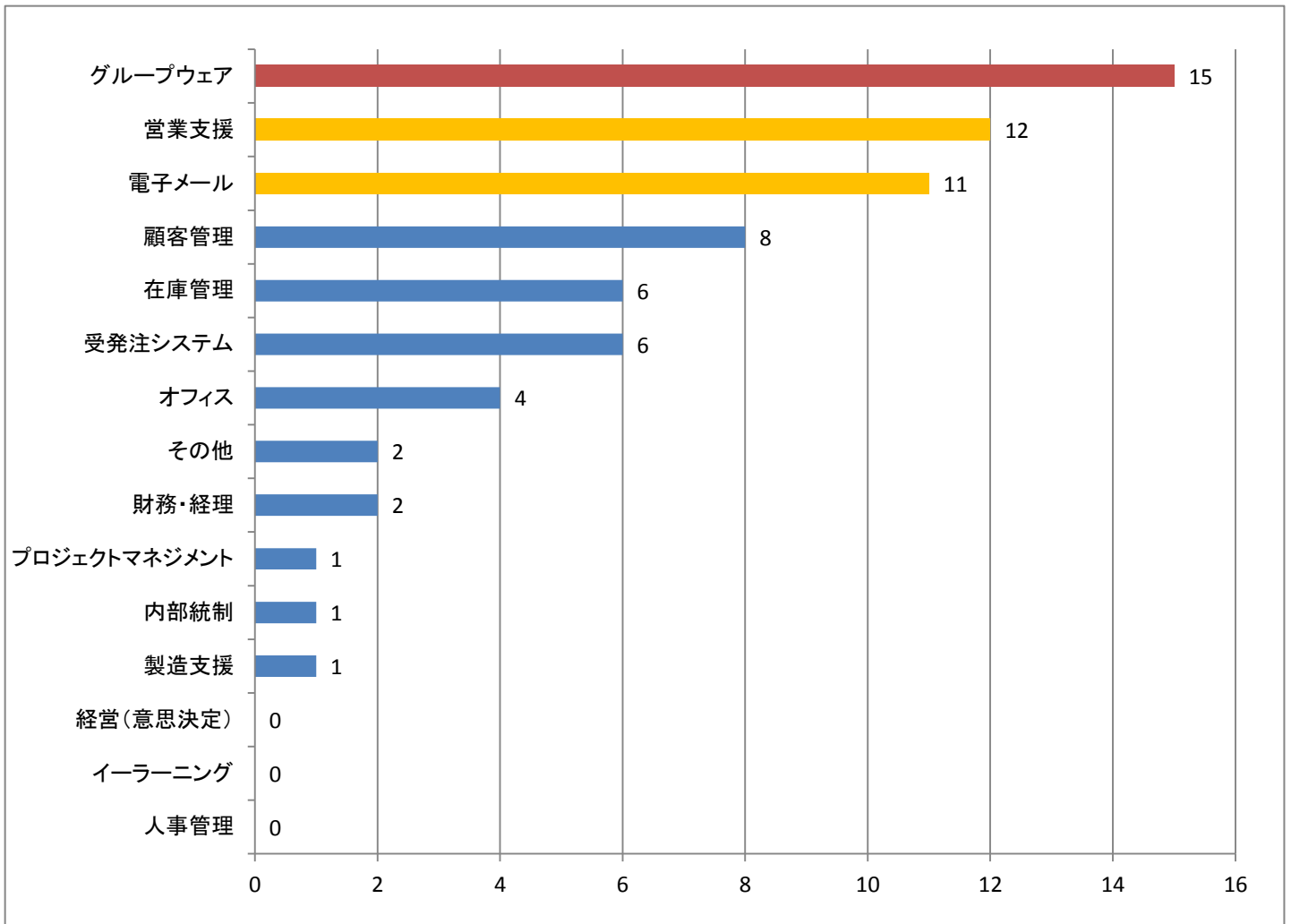
Q4) 「クラウドサービス」の利用及び導入検討を行ったきっかけとして、最も近いものをお選びください。



「経営層の指示」が最も多く、7人(24%)を占めたが、
 情報システムの企画・運用部署からの提案も、9人(38%)と「経営層の指示」を上回る結果となった。
 尚、その他の1件の内容は、「情報システム部の人間がいなくなるため」であった。

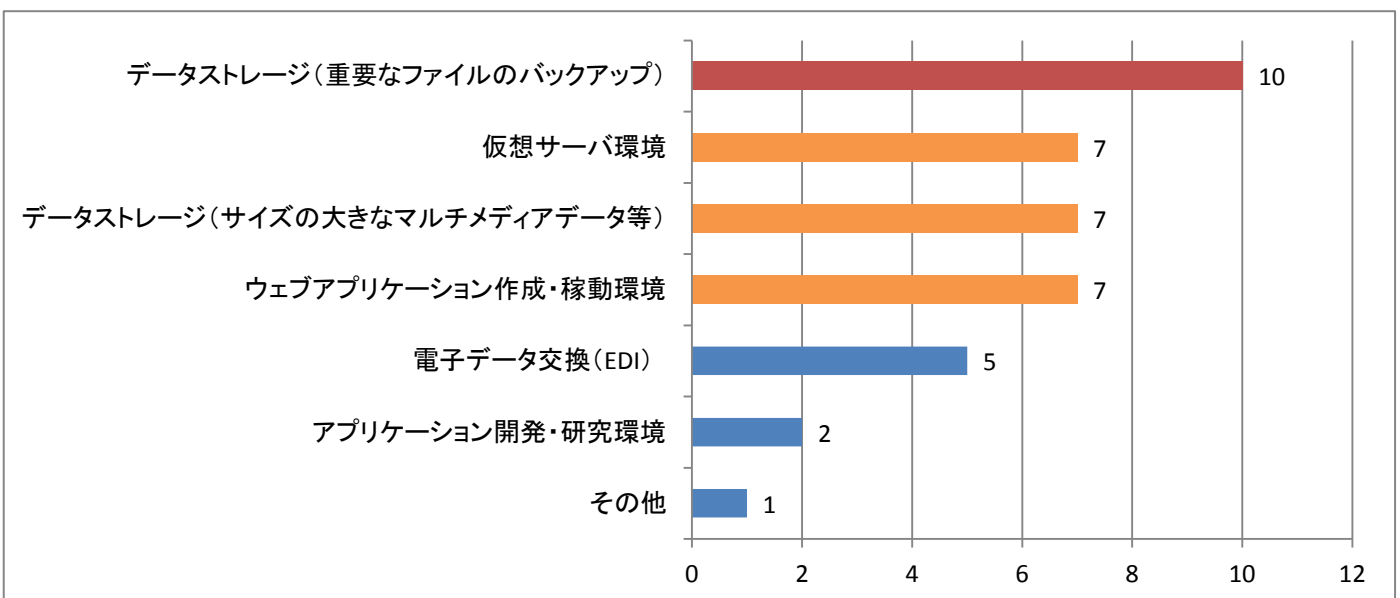
<クラウドコンピューティングの利用目的・分野>

Q5)「クラウドサービス」として利用している、利用を計画しているサービスをお選びください。(複数選択可)
【業務アプリケーション】



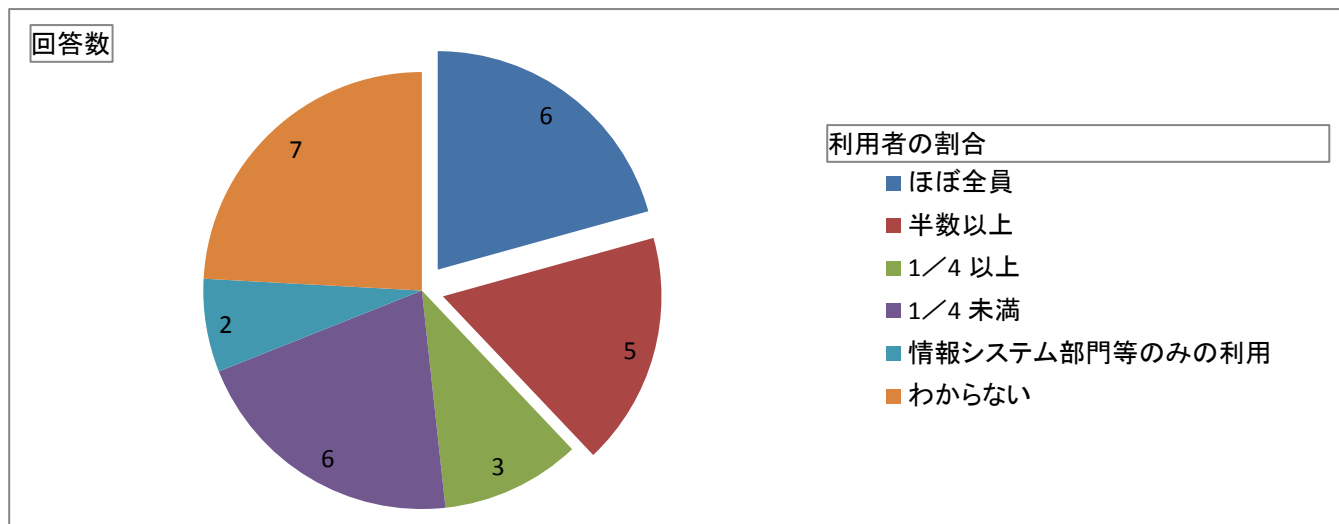
グループウェアが最も多く、15人と半数近く、営業支援((12人)・電子メール(11人)と続く。尚、その他の2件の内容は、「ファイルサーバ」・「ウイルスソフト」であった。

【サーバ環境】



「データストレージ(重要なファイルのバックアップ)」が、10人と最多だが、1/3を下回る結果となった。それに続くのは、「ウェブアプリケーション作成・稼動環境」・「仮想サーバ環境」だが、7人と1/4未満だった。やはり、「データストレージ(サイズの大きなマルチメディアデータ等)」も含めたストレージ系での利用が多いが、仮想サーバ環境やウェブアプリ関連等での利用も多い点が注目される。尚、その他の1件の内容は、「わからない」であった。

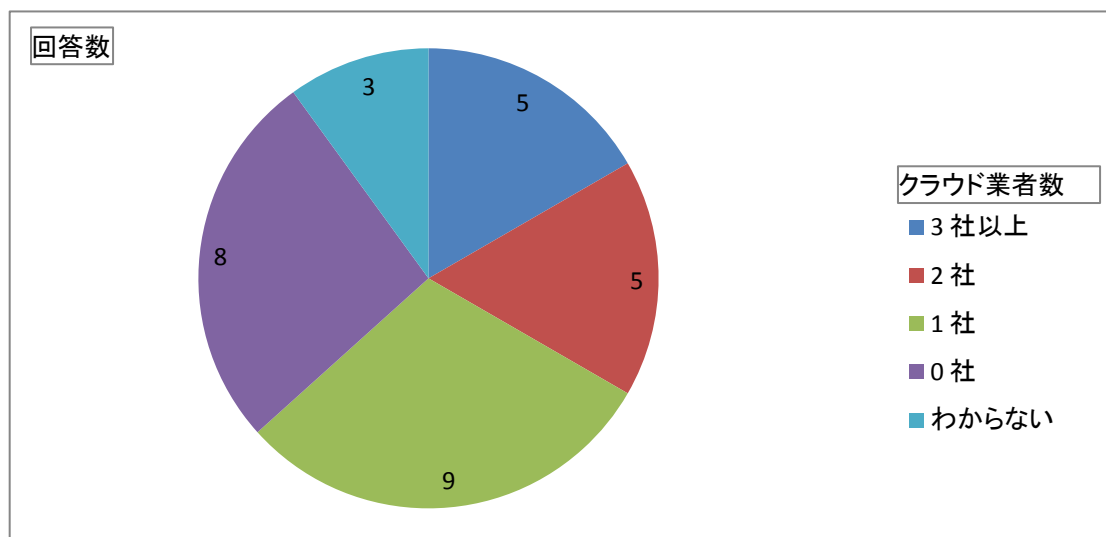
Q6) 貴社において「クラウドサービス」を利用されている従業員の、全従業員に占める割合を選んでください。



「ほぼ全員」と全人導入の回答が6人(20%)に上る。

「ほぼ全員」「半数以上」を合わせると11人(約1/3)に上る会人が本格導入と考えられる。

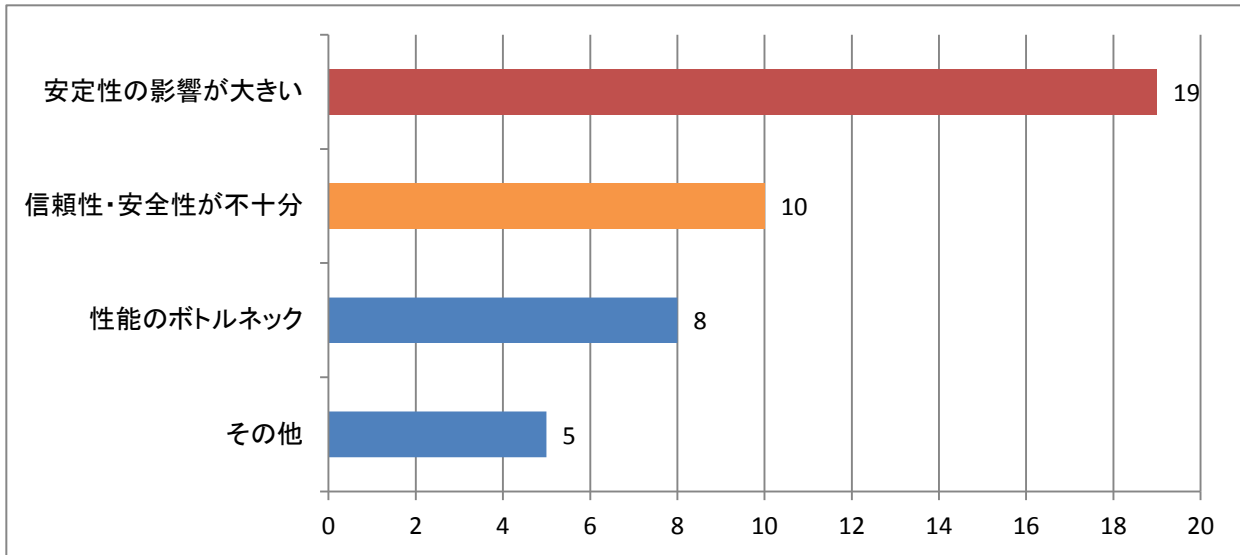
Q7) 現在貴社で利用している「クラウドサービス」事業者の数(法人として数える)をお選びください。
まだ利用されていない場合は0社を選んでください。



「事業者1社だけの利用」が、9人(30%)だが、「事業者2社以上の利用」も、10人(約1/3)あり、
「事業者0社」・「わからない」を除く19人中では過半数であり、
最適なサービスを選択し、複数の事業者を使い分ける傾向がみられる。

<クラウド利用のためのネットワークについて>

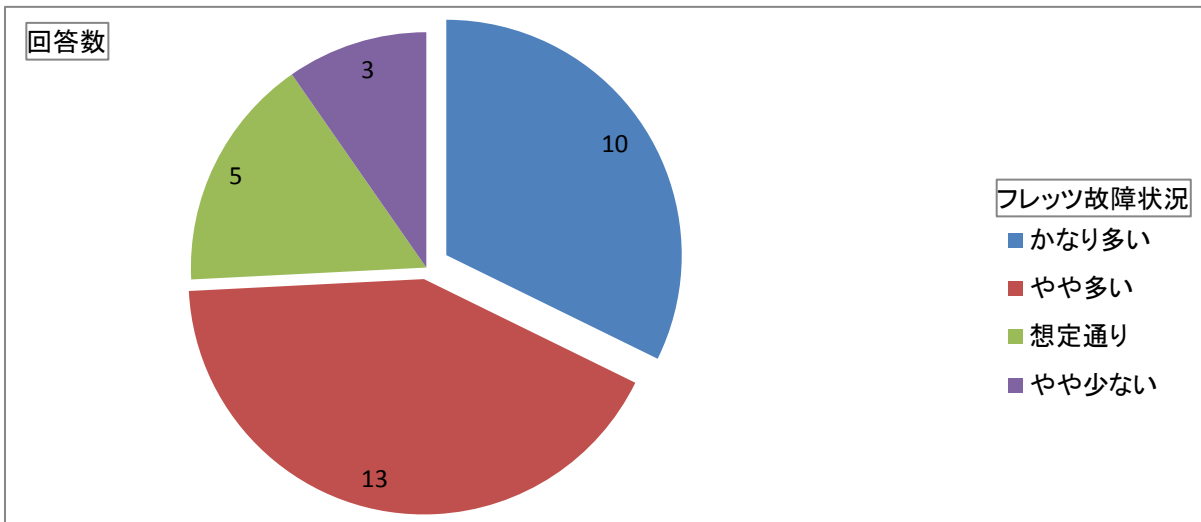
Q8) 「クラウドサービス」を利用するためのネットワークについて、課題と思われるものをお選びください。



「安定性の影響が大きい」が、19人(約60%)と圧倒的に多数の声。
クラウドサービスを業務利用する上では、ネットワークのが常に使えることは不可欠な問題と言えよう。
「信頼性・安全性が不十分」が、10人(約1/3)とそれに続く。
「性能のボトルネック」は、8人と意外に少数で、ブローバンド化の恩恵によるものと考えられる。

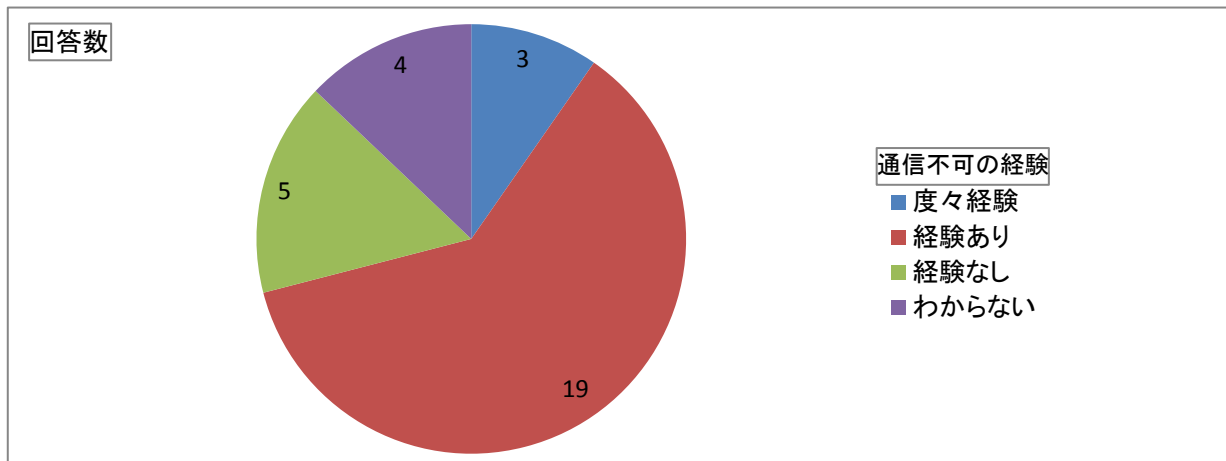
尚、その他の5件の内容は、
「情報管理・漏えい対策」、「セキュリティ面(情報漏洩)」、「サービス提供者とのセキュリティの課題」、
とネットワークにもセキュリティを求める声が複数上がっている。
それ以外では、「保守料」としてコスト面を挙げる回答や、「満足している」との回答もあった。

Q9) フレッツ故障状況のレポートを見てどう思いましたか。



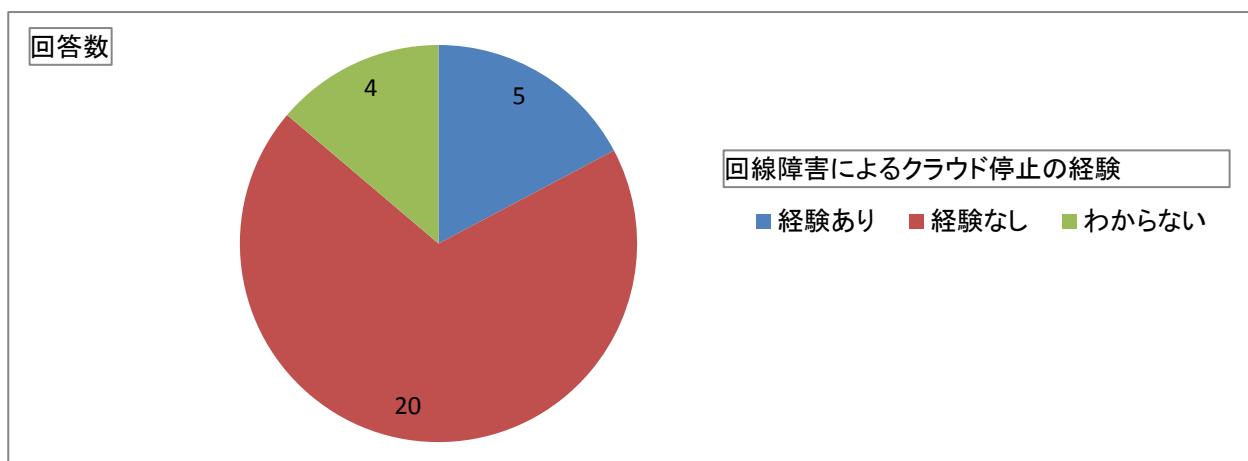
「かなり多い」・「やや多い」との回答合計が、23人(約3/4)と多数を占める。
「かなり多い」との回答だけでも、10人(約1/3)あり、感覚値との実態に食い違いがあるものと思われる。

Q10) フレッツ光などのインターネット回線が故障して、通信ができなくなった経験はありますか。



「度々経験」・「経験あり」の合計で、22人(約70%)を占めるものの、その大半は、「経験あり」で、それほど頻度では、経験していないことになる。

Q11) 回線障害によるクラウドサービスの利用停止の経験はありますか。



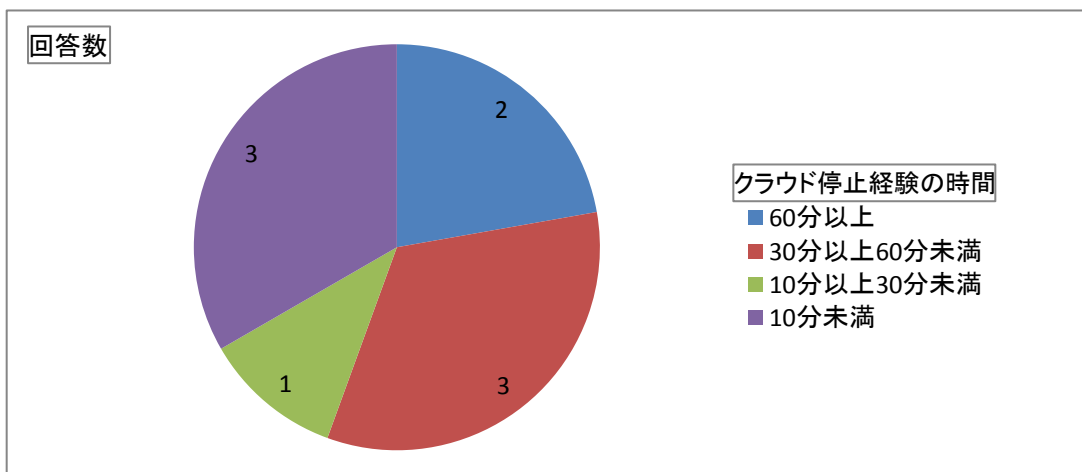
「経験なし」が、20人と約2/3を占める。「わからない」を除くと約80%である。

Q10の結果と、不整合のようにも思われるが、推測される要因としては、

- ・クラウドサービス利用開始が最近である
 - ・クラウドサービスの利用時間が限られており、その時間に通信サービスの故障が発生していなかった。
- 等が考えられる

Q12) 回線障害によるクラウドサービスの利用停止の際、どの程度利用ができませんでしたか。

※Q11で、経験があると回答された方は、お答えください。

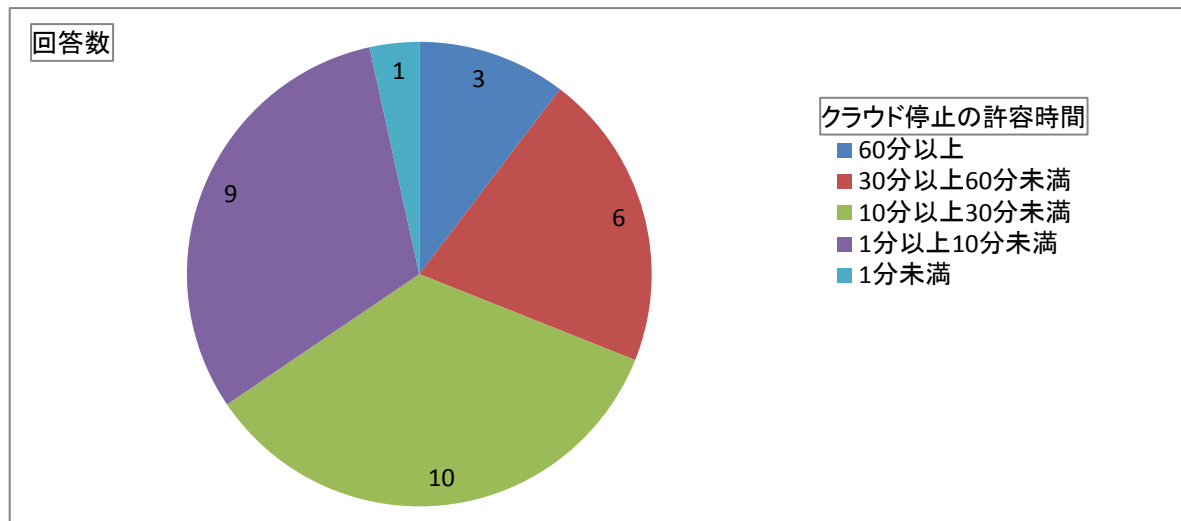


「30分以上60分未満」・「60分以上」の合計では、5人と、この設問の回答中の過半数を占める。

一旦回線障害が起こった場合は、数十分の利用停止になる可能性が高いことがわかる。

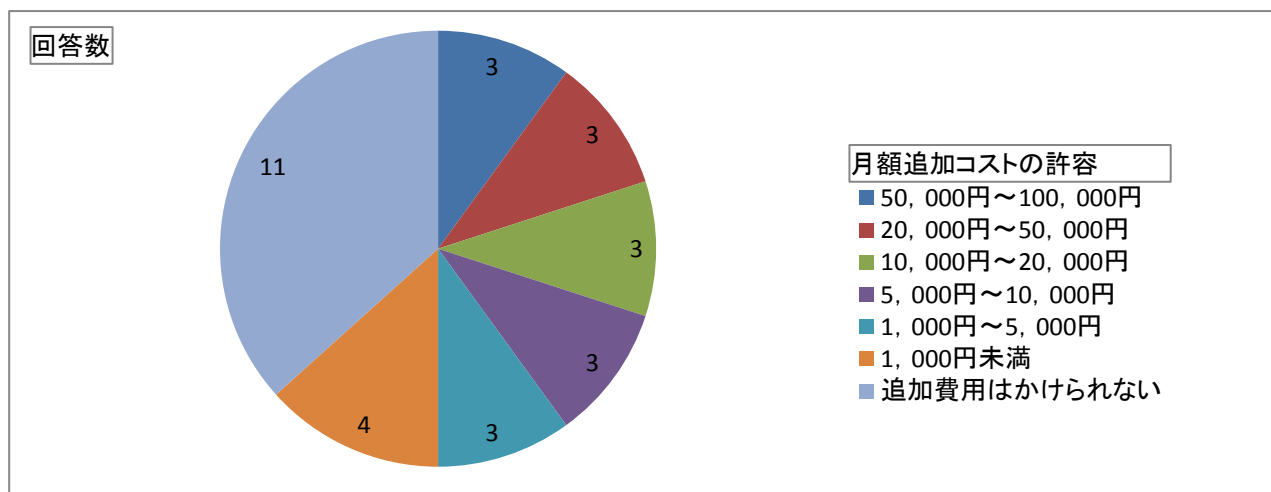
Q10の「経験あり」と回答数が合わないことから、「10分未満」の中には、「未経験」が含まれている可能性がある。

Q13) 回線障害によるクラウドサービスの利用停止を想定した場合、我慢できる停止時間はどの程度ですか、
※クラウドサービスをご利用でない方は、ご利用時を想定して、お答えください。



「30分以上60分未満」・「60分以上」を許容できるとの回答の合計は、9人(約1/3)。
「10分以上30分未満」が、10人と1/3を超え、「1分以上10分未満」も、9人と1/3近い回答となった。

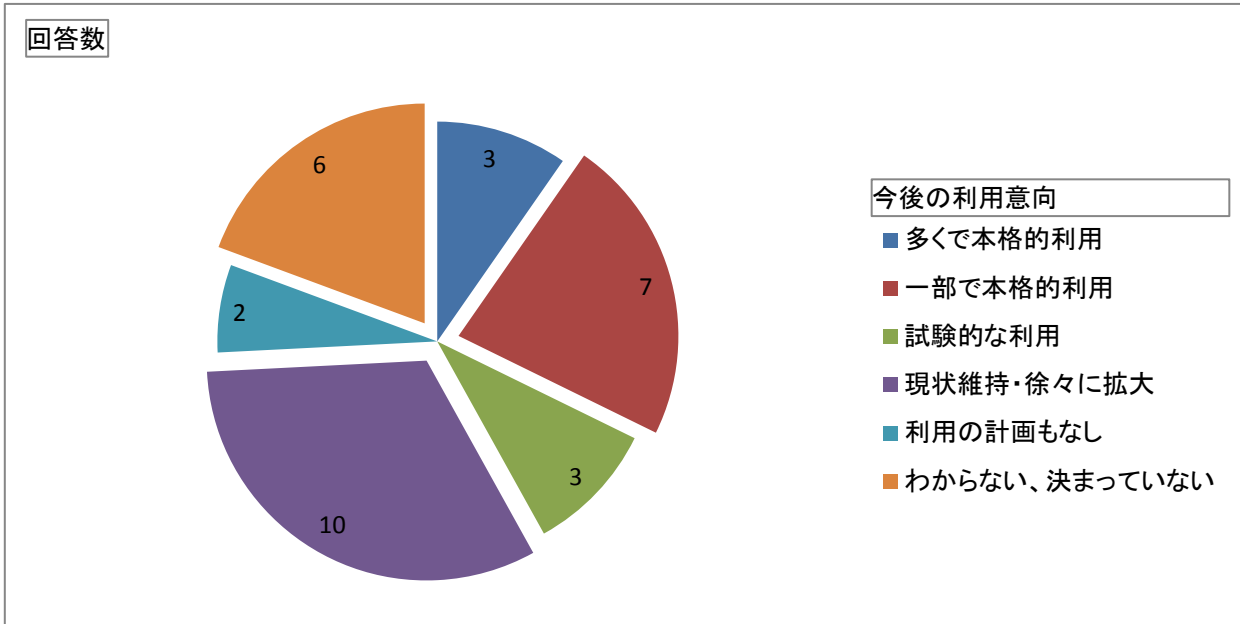
Q14) 通信回線の故障によるサービスの利用停止を避けるためにどれだけの月額費用をかけてもよいですか。



「追加費用はかけられない」が、11人(約1/3)を占める結果となった。
それ以外の回答金額については、バラツキが多く、各社の状況等による差が出る項目と思われる。
利用停止は避けたいものの、コストは無視できない「板挟み」が想像される。

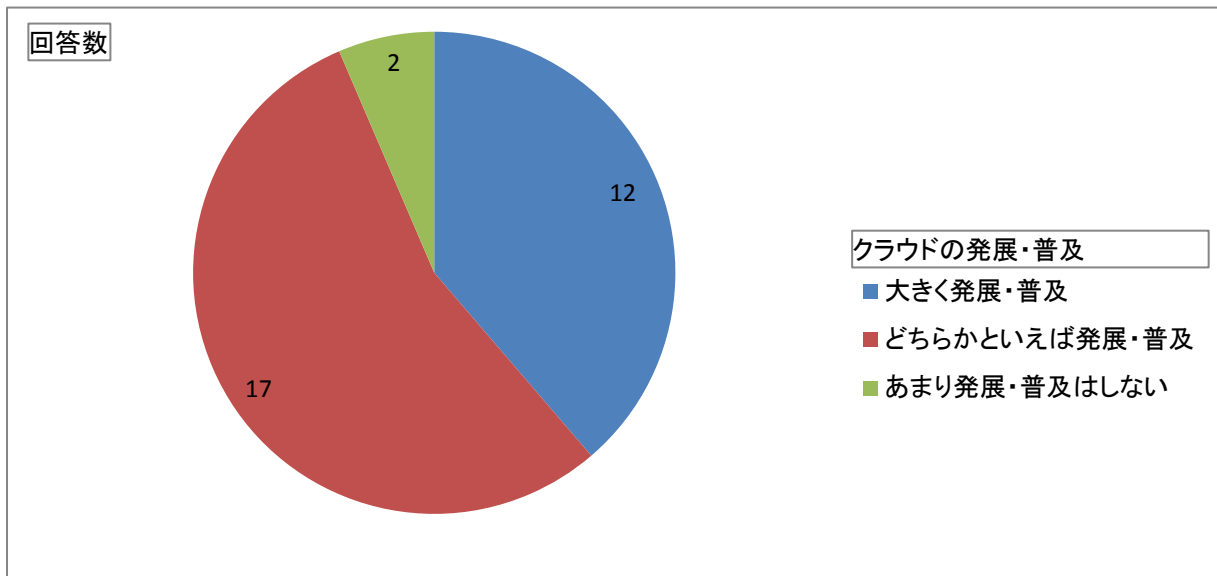
<今後のクラウド利用の意向・興味の度合い>

Q15) 今後、貴社において「クラウドサービス」の利用・活用は拡大して行くと思われますか。



「現状維持・徐々に拡大」との回答が、10人(約1/3)を占め、爆発的な利用拡大とは考えられていないようである。「一部で本格的利用」が7人(約1/4)とあるように、本格利用についても、必ずしも全社でなく、ふさわしい業務や部署について考えるようである。「わからない、決まっていない」が6人あり、「試験的な利用」3人も含めて、見極めの最中の回答者も多いようである。

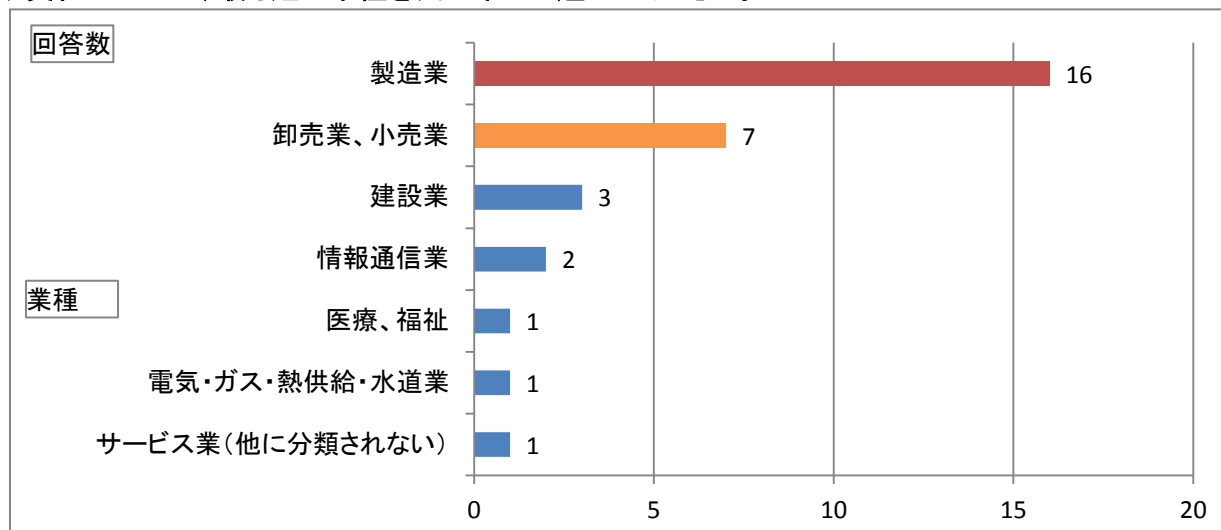
Q16) 今後、「クラウドサービス」は発展・普及して行くと思われますか。あるいは普及しないと思われますか。



「大きく発展・普及」は、1/3以上(12人)を占めたが、「どちらかといえば発展・普及」の17人(過半数)には及ばない。発展はするものの、全てがクラウド化されるとは、想定されていないとの意図であろうか。やはり、目的・用途に応じた使い分けを想定されているのではないかと、推測される。

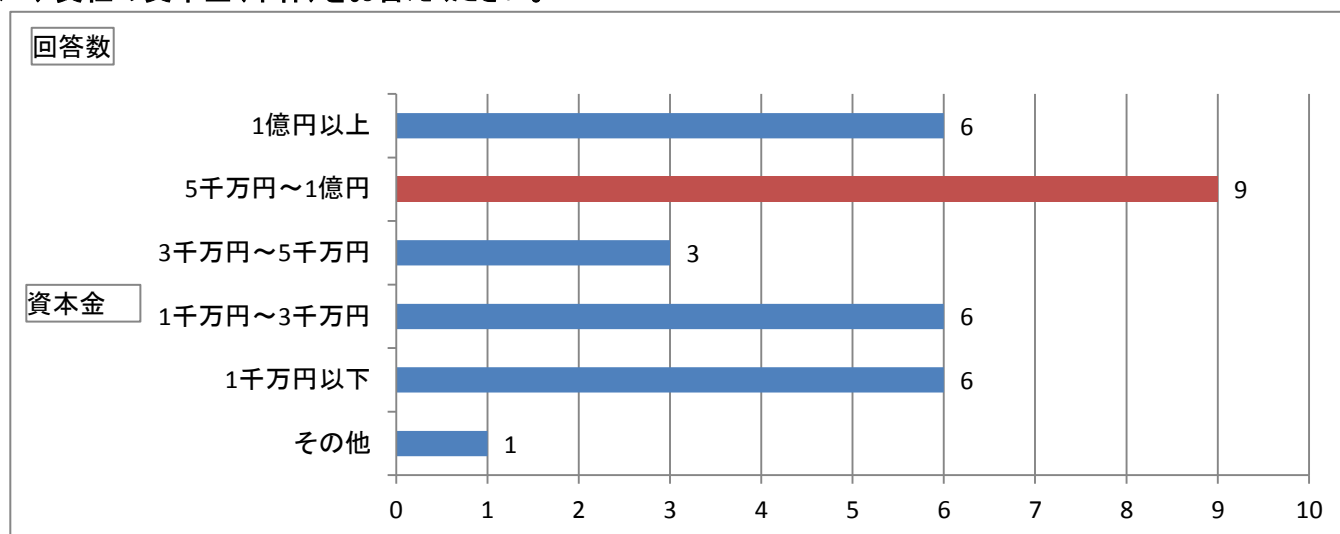
<貴方および貴方の会社の属性>

Q17) 貴社について、最も近い業種を次の中から選んでください。



「製造業」が、16人と過半数、「卸売業・小売業」が7人でそれに続く。

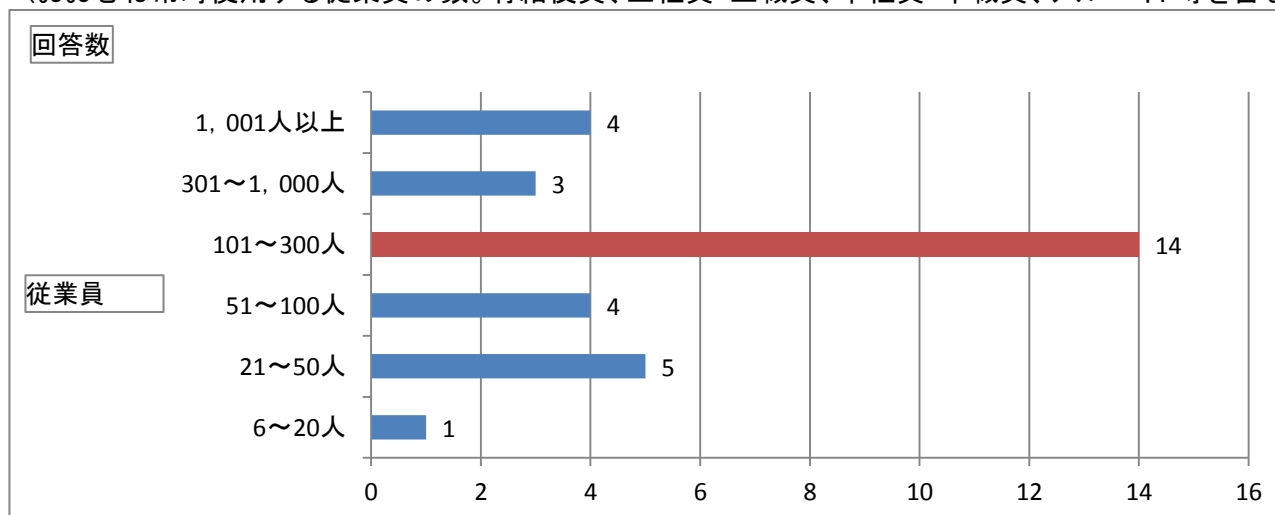
Q18) 貴社の資本金(単体)をお答えください。



「5千万円～1億円」が、9人で最も回答が多いが、各資本金額帯に、バランス良く分布している。尚、「その他」の1人は、医療法人である。

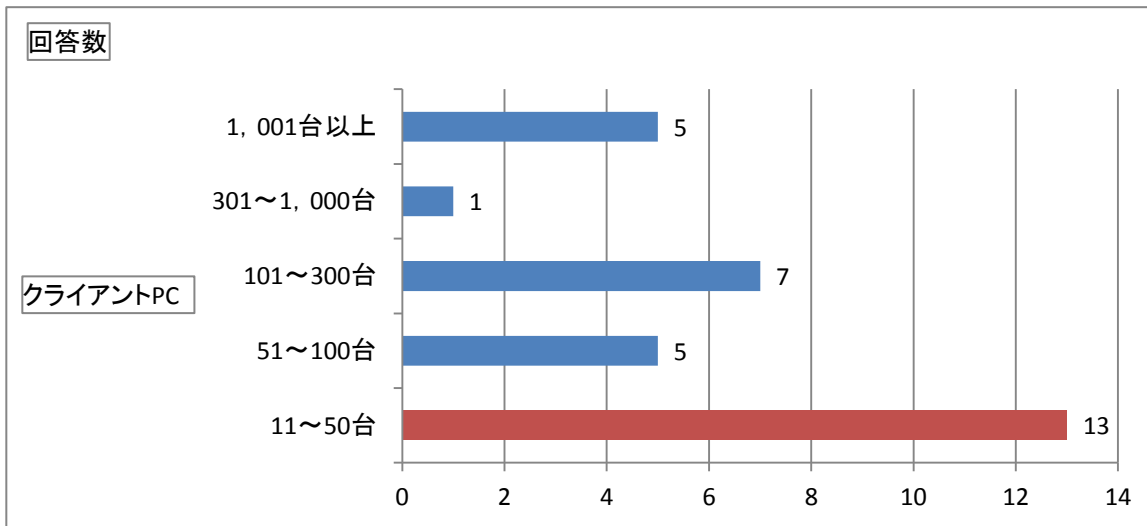
Q19) 貴社の従業員数をお答えください。

(おおむね常時使用する従業員の数。有給役員、正社員・正職員、準社員・準職員、アルバイト等を含む)



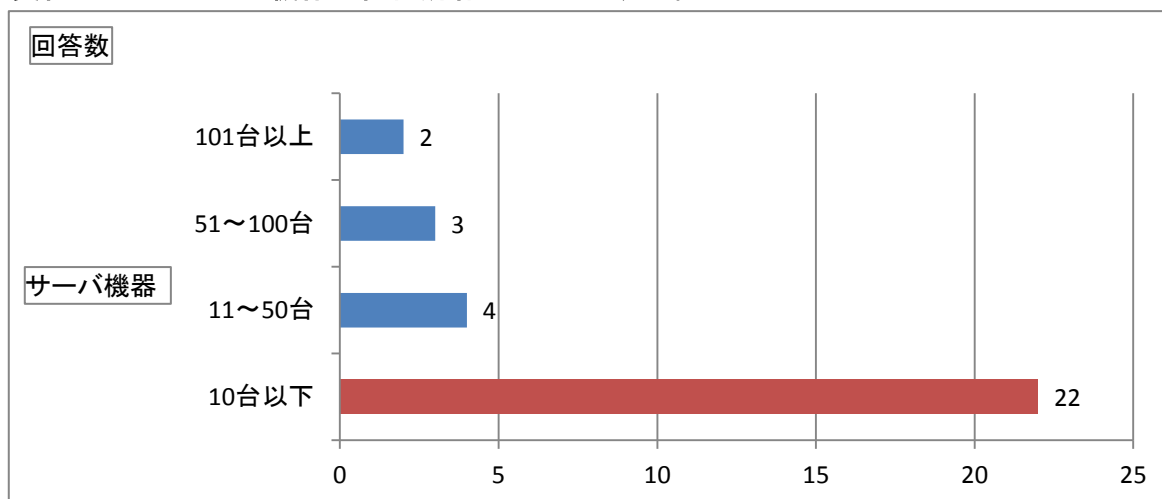
「101～300人」が14人と半数近いが、幅広く、分布している。

Q20) 貴社においてクライアントPCは何台所有されていますか。



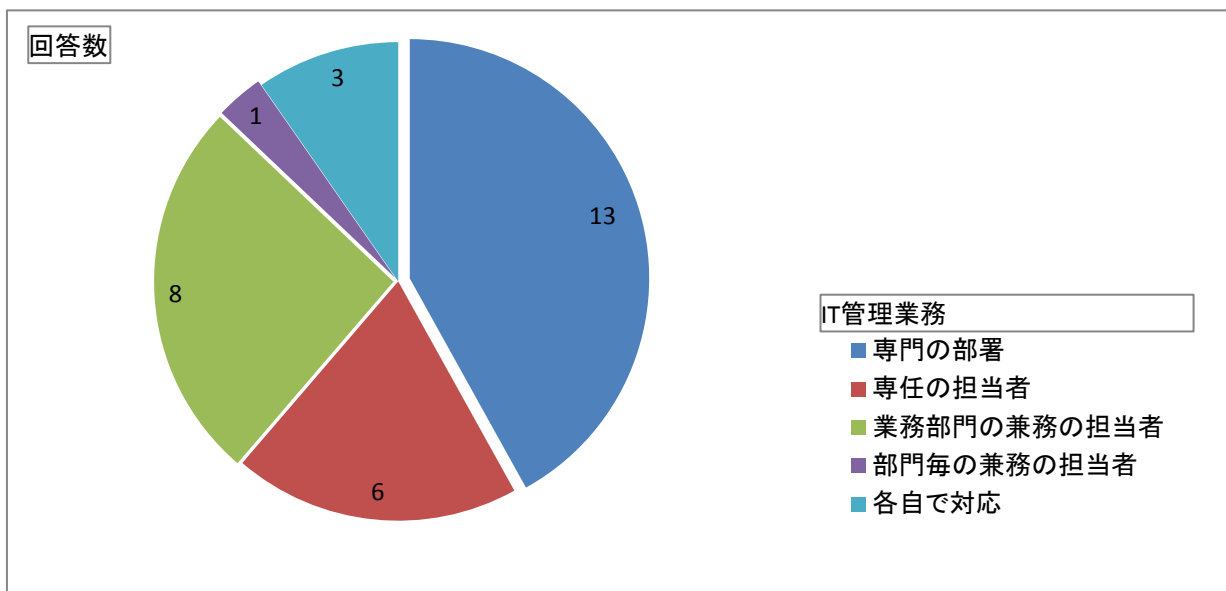
「11~50台」が、13人(約40%)を占めるが、「1,001台以上」等の回答も、5人ある。

Q21) 貴社においてサーバ機器は何台所有されていますか。



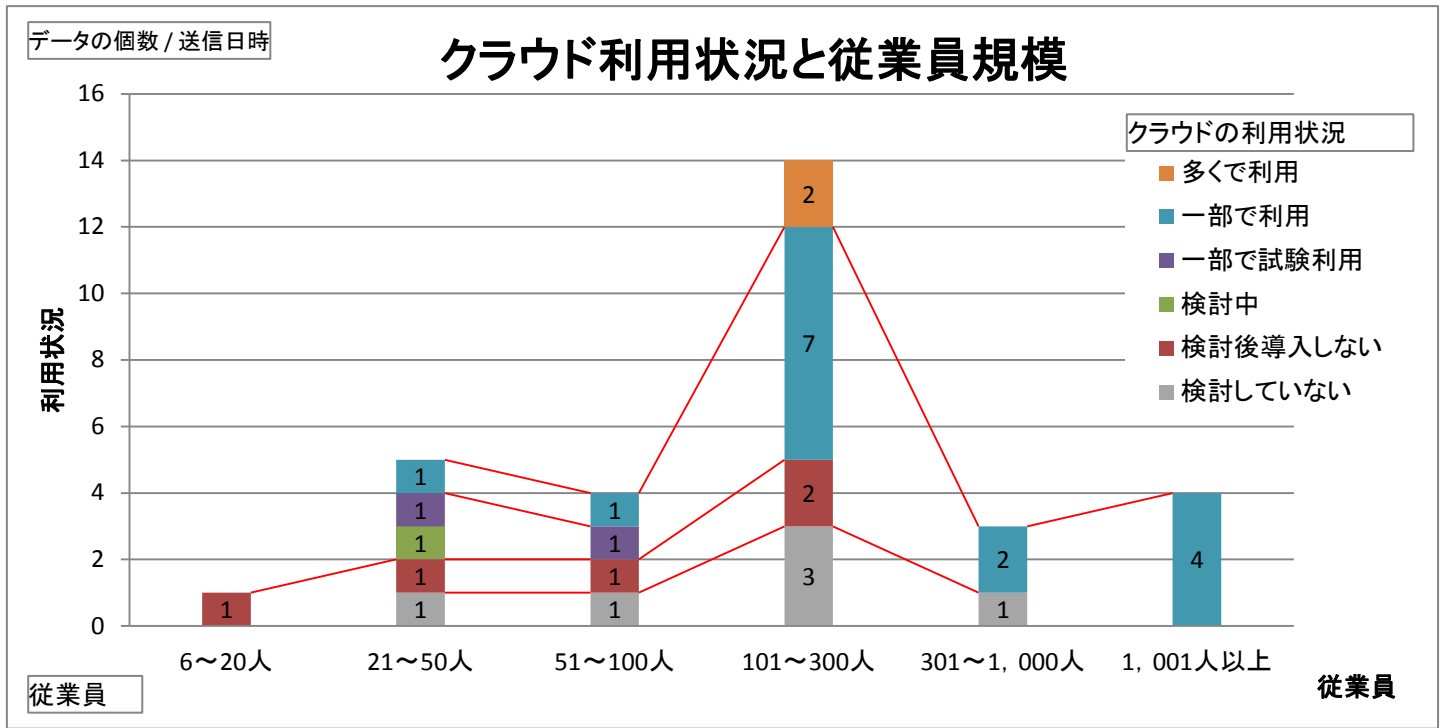
「10台以下」が22人(2/3以上)を占めるが、「101台以上」等の回答も2人ある。

Q22) 貴社の組織のITに関する管理はどのように行われていますか。最も近いものをお選びください。



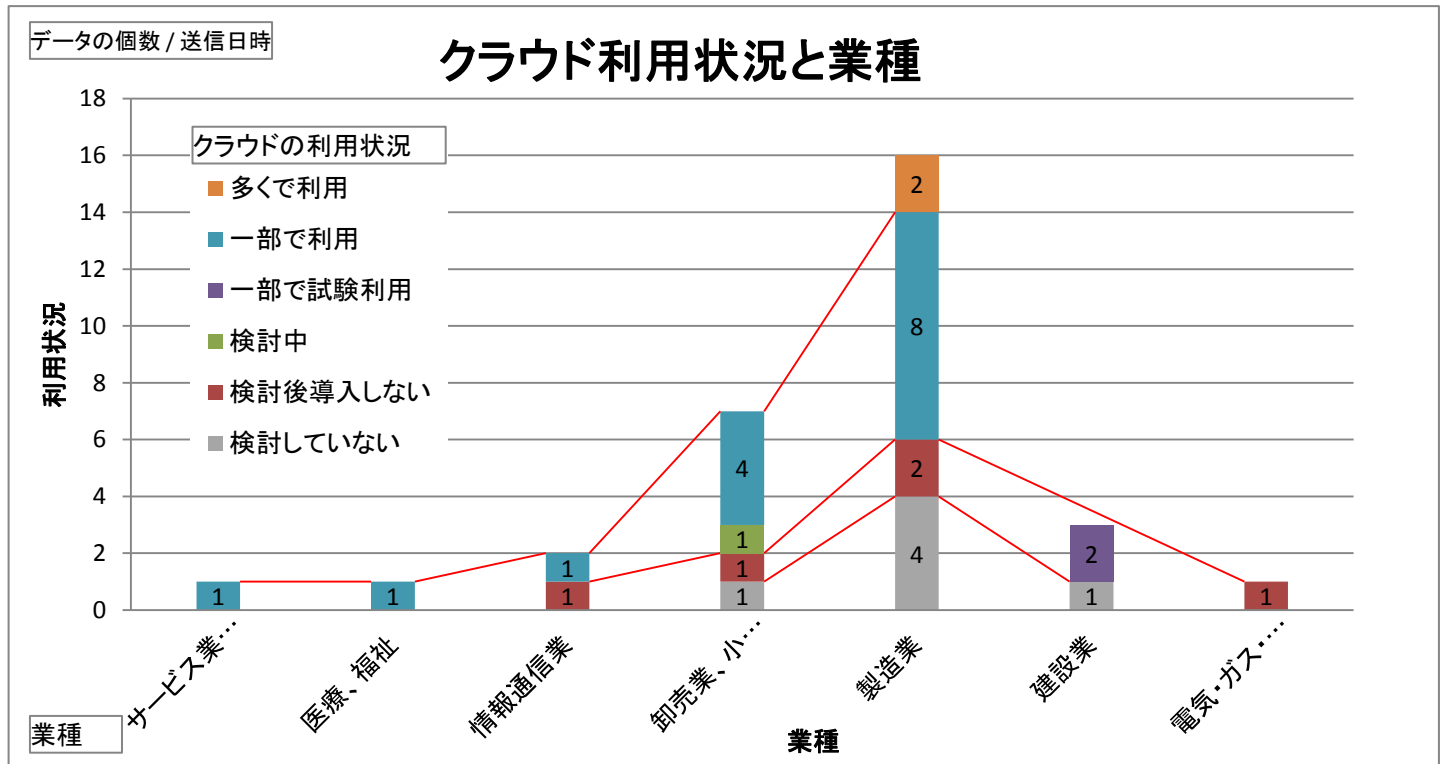
「専門の部署」が、13人と40%を超えて多数だが、「業務部門の兼務の担当者」・「部門毎の兼務の担当者」も、合わせて9人と30%近い。

①クラウド利用状況と従業員規模



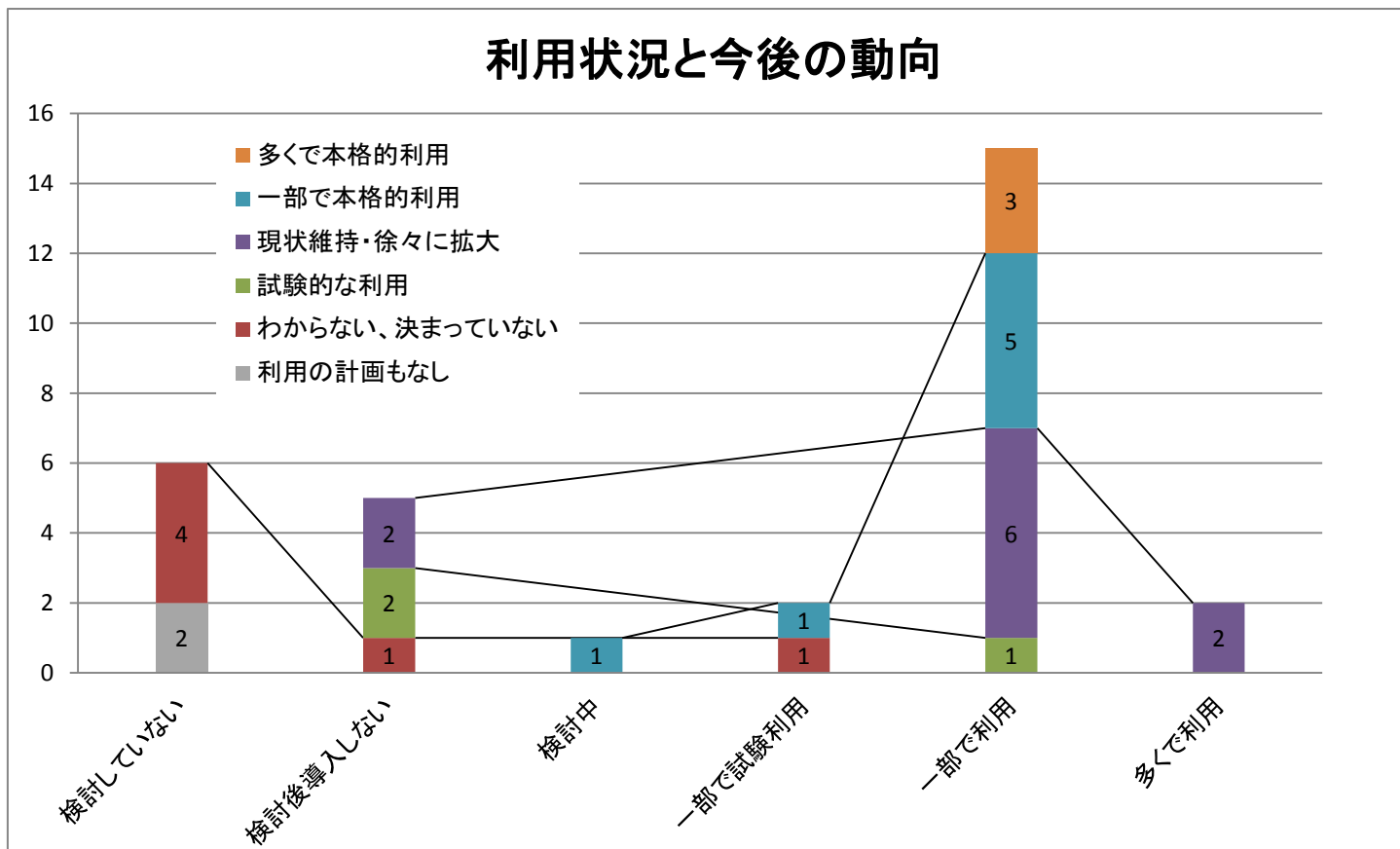
300人超の会社では、「検討していない」が1人いるものの、他は全て「一部で利用」である。導入率は高いが、利用者・用途は限定的である。また、「検討中」や「検討後導入しない」は見られず、検討段階は終わったと言えるだろう。100人超の規模から、クラウドサービスの導入率は高くなる傾向が見受けられる。300人以下の会社では、「検討後導入しない」や「検討していない」が各規模に分布しており、規模に見合ったクラウドサービスが見つからない状況と推測される。

②クラウド利用状況と業種



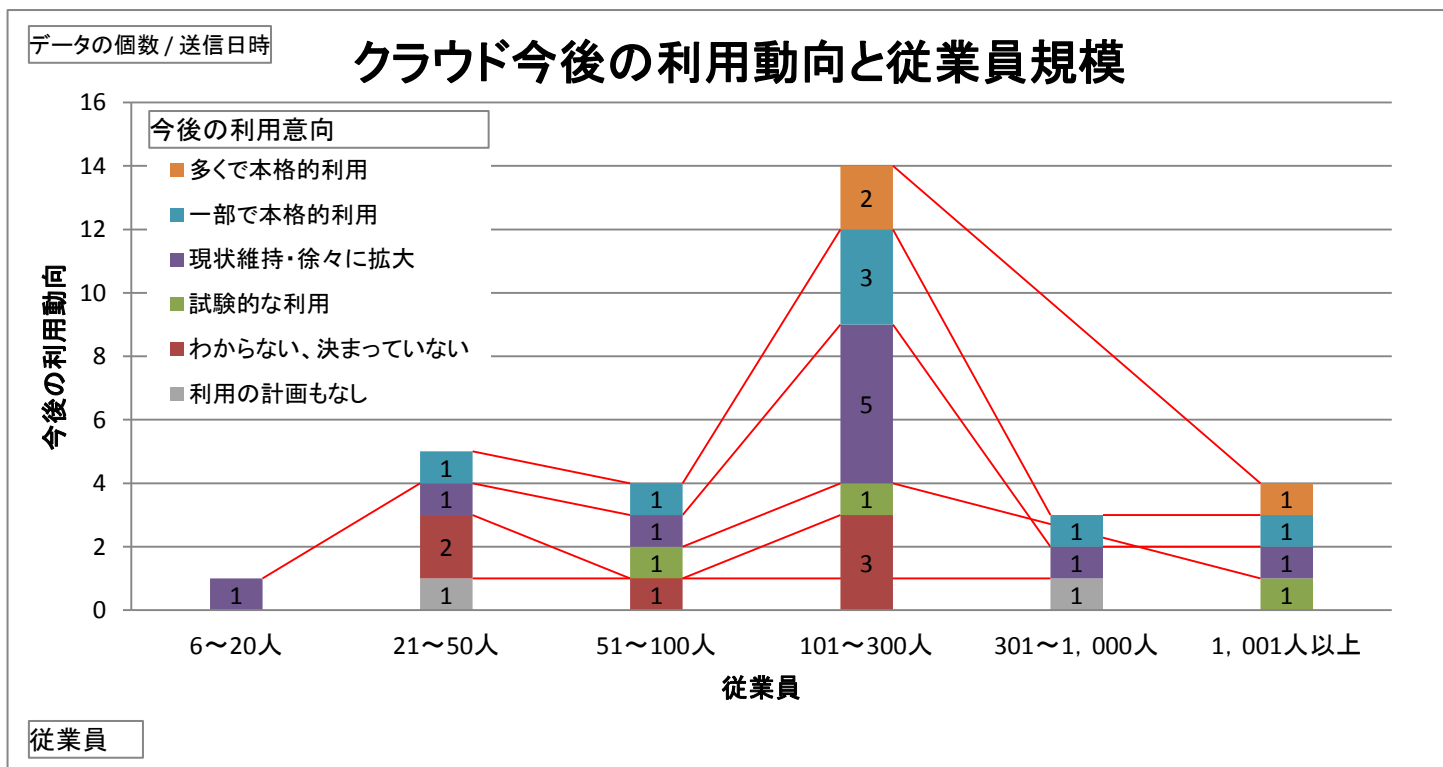
製造業が最もクラウドサービスの導入が進んでおり、「多くで利用」・「一部で利用」の合計が2/3近い(10人/16人)。電気・ガス等の社会インフラ関連や建設業は、クラウドサービスの導入率が低いようである。サンプル数が少ないため、傾向とまでは言えないが、サービス業・医療福祉関連は、導入が進んでいる。

③利用状況と今後の動向



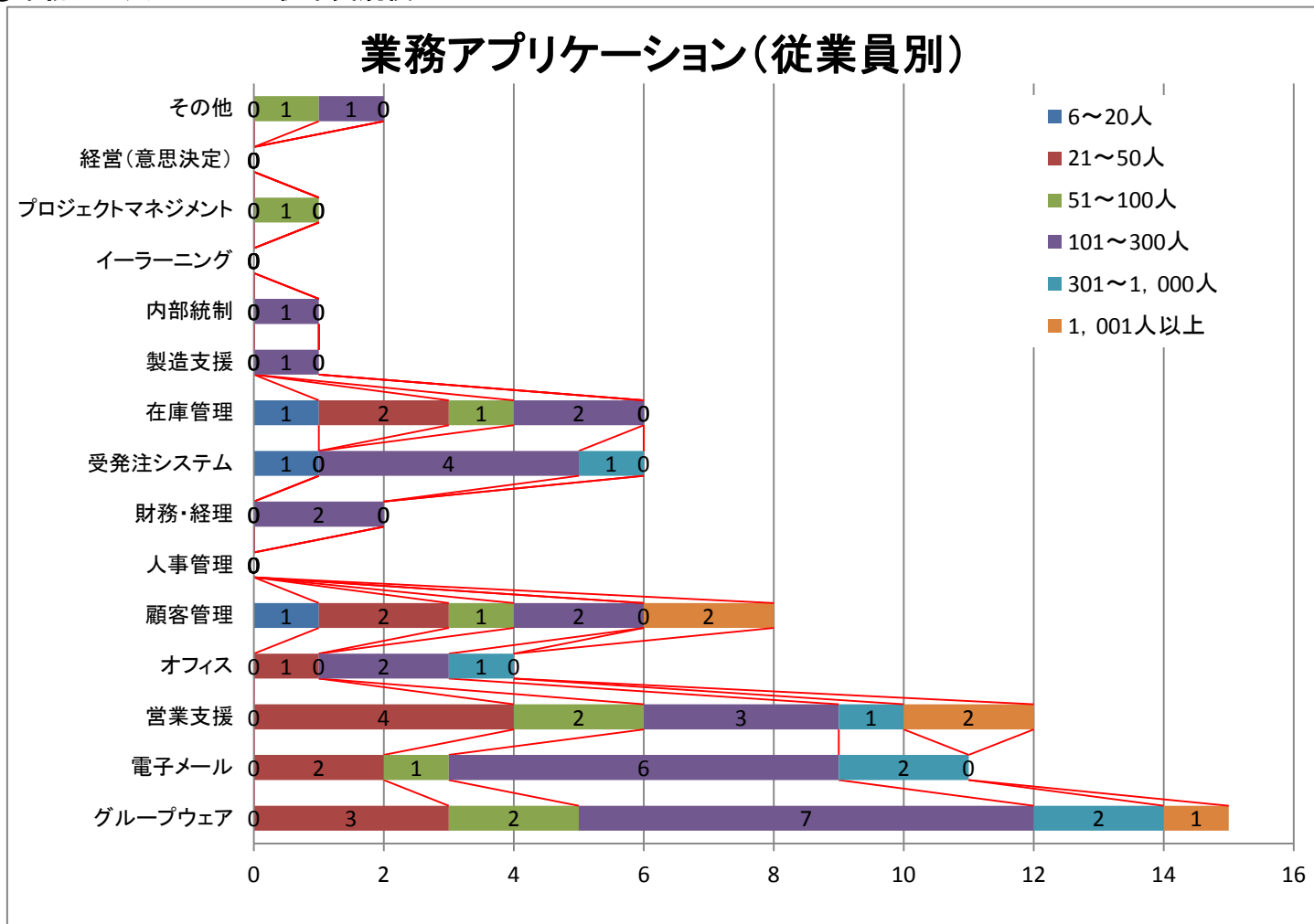
現在「多くで利用」の回答者は、全て「現状維持・徐々に拡大」である。
 現在「一部で利用」の回答者は、「現状維持・徐々に拡大」よりも、本格的な利用に進むと考えている比率が高い。
 現在「検討後導入しない」回答者でも、今後は、「試験的な利用」や検討を否定しているわけではない。

④今後の動向と従業員規模

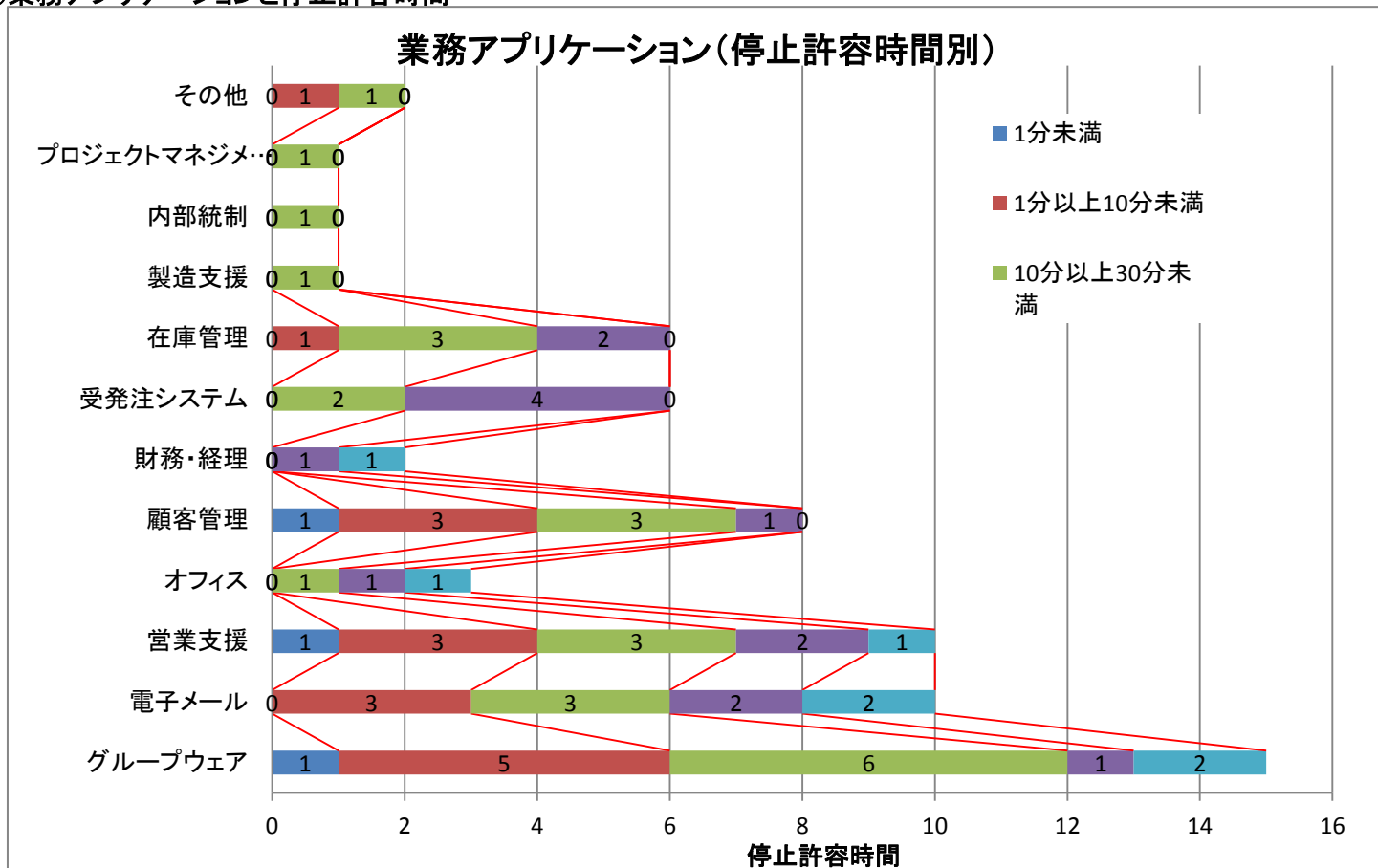


300人超では、「わからない、決まっていない」の回答がないが、21人~300人の規模では複数ある。
 「多くで本格的利用」は、100人以下では、見られない。

⑤業務アプリケーションと従業員規模

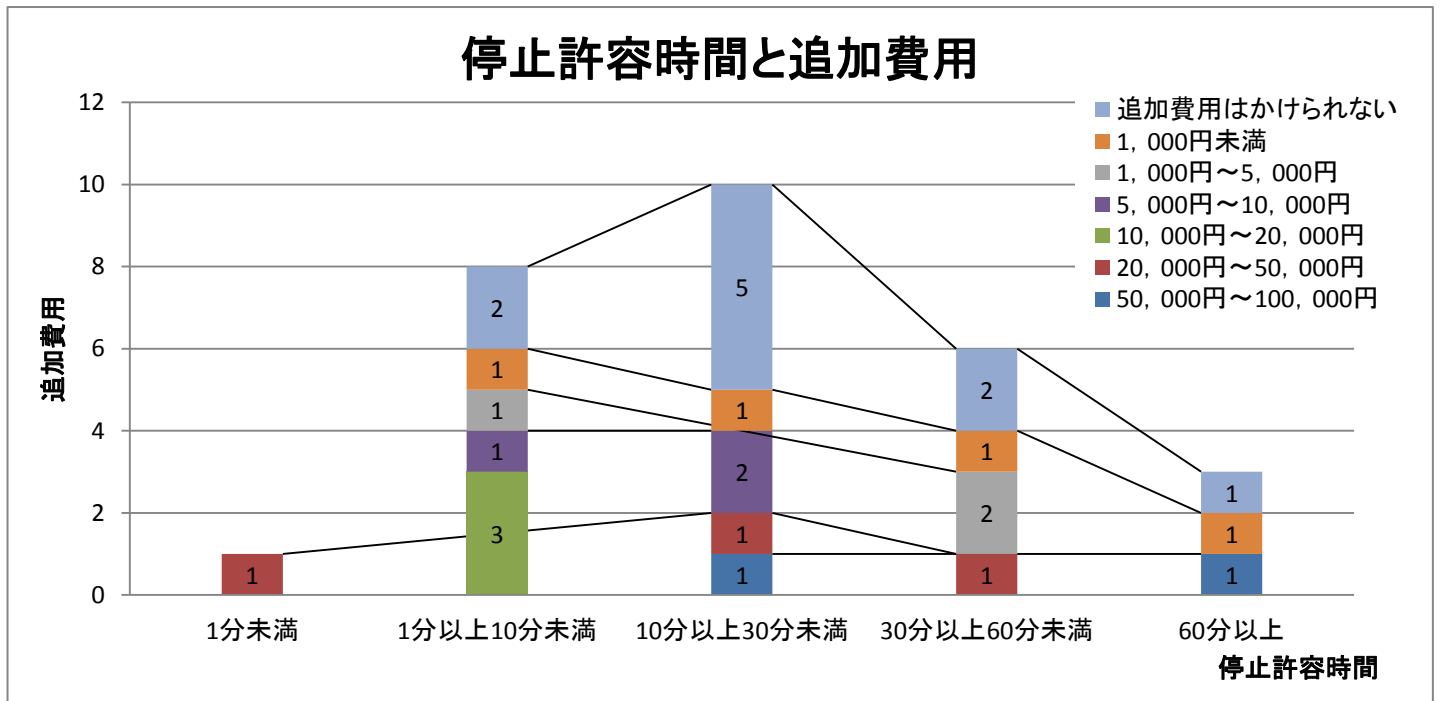


⑥業務アプリケーションと停止許容時間



情報系用途(「グループウェア」・「電子メール」・「営業支援」・「オフィス」)では、「60分以上」の停止許容もある反面、「1分以下」の回答も見られるように、バラツキが大きい。
 一方、「受発注システム」・「在庫管理」では、「60分以上」の回答が見られず、長時間の停止が許されないものの、「1分以下」の回答はなく、「1分以上10分未満」も1人のみとなっている。

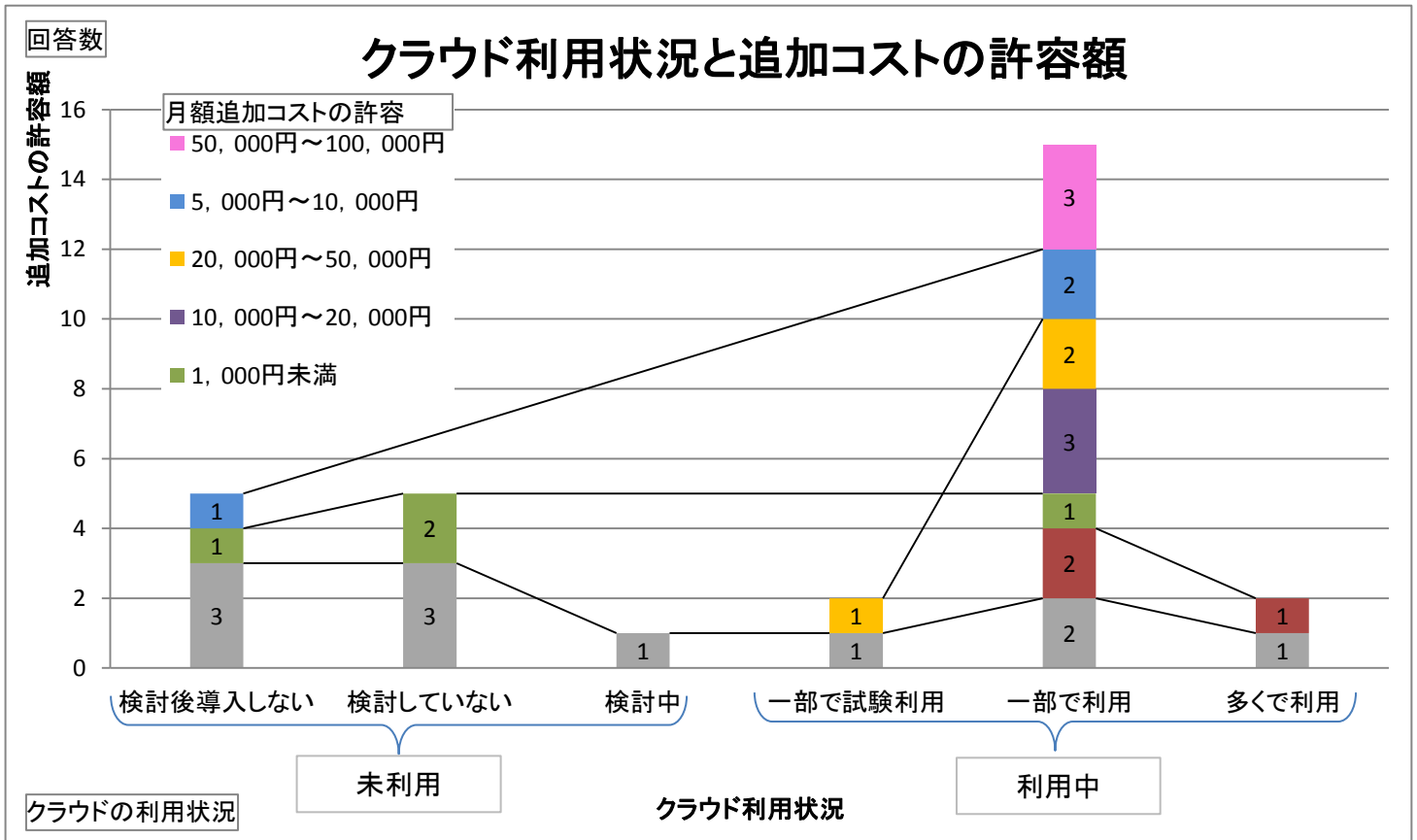
⑦停止許容時間と追加費用



停止許容時間が10分以上の区分においては、「追加費用はかけられない」が、最多となっている。「1分未満」・「1分以上10分未満」においては、「20,000円～50,000円」・「10,000円～20,000円」が最多だが、「60分以上」でも「50,000円～100,000円」の回答があるなど、バラツキが見られる。

設問の「追加費用」が、会社全体か回線(拠点)毎かが曖昧だったこともあり、回答者の意図を正確に把握できていない可能性がある。

⑧クラウド利用状況と追加費用



クラウド未利用(検討中含む)の回答者は、「追加費用はかけられない」が11人中7人と比率が高い。クラウド利用中の回答者は、「追加費用はかけられない」が19人中4人と比率が低く、何らかの追加費用を許容している回答が、80%近くを占める。最も回答が多い「一部で利用」では、追加費用の許容額のバラツキは大きい。

【目次】

表紙・調査概要

P1

<クラウドコンピューティングの認知状況、利用状況>

P2

- Q1) 「クラウドコンピューティング」及び「クラウドサービス」という言葉について、ご存知でしたか。
Q2) 以下に示す「クラウドコンピューティング」の概念、技術について、あなたの認知状況を選んでください。
Q3) 貴社における「クラウドサービス」の利用状況について、最も良くあてはまる項目を一つだけ選んでください。
Q4) 「クラウドサービス」の利用及び導入検討を行ったきっかけとして、最も近いものをお選びください。

<クラウドコンピューティングの利用目的・分野>

P4

- Q5) 「クラウドサービス」として利用している、利用を計画しているサービスをお選びください。
【業務アプリケーション】
【サーバ環境】
Q6) 貴社において「クラウドサービス」を利用されている従業員の、全従業員員に占める割合を選んでください。
Q7) 現在貴社で利用している「クラウドサービス」事業者の数(法人として数える)をお選びください。

<クラウド利用のためのネットワークについて>

P6

- Q8) 「クラウドサービス」を利用するためのネットワークについて、課題と思われるものをお選びください。
Q9) フレッツ故障状況のレポートを見てどう思いましたか。
Q10) フレッツ光などのインターネット回線が故障して、通信ができなくなった経験はありますか。
Q11) 回線障害によるクラウドサービスの利用停止の経験はありますか。
Q12) 回線障害によるクラウドサービスの利用停止の際、どの程度利用が来ませんでしたか。
Q13) 回線障害によるクラウドサービスの利用停止を想定した場合、我慢できる停止時間はどの程度ですか。
Q14) 通信回線の故障によるサービスの利用停止を避けるためにどれだけの月額費用をかけてもよいですか。

<今後のクラウド利用の意向・興味の度合い>

P9

- Q15) 今後、貴社において「クラウドサービス」の利用・活用は拡大して行くと思われませんか。
Q16) 今後、「クラウドサービス」は発展・普及して行くと思われませんか。あるいは普及しないと思われませんか。

<貴方および貴方の会社の属性> … 回答者プロフィール

P10

- Q17) 貴社について、最も近い業種を次の中から選んでください。
Q18) 貴社の資本金(単体)をお答えください。
Q19) 貴社の従業員数をお答えください。
Q20) 貴社においてクライアントPCは何台所有されていますか。
Q21) 貴社においてサーバ機器は何台所有されていますか。
Q22) 貴社の組織のITに関する管理はどのように行われていますか。

<クロス集計>

P12

- ①クラウド利用状況と従業員規模
②クラウド利用状況と業種
③利用状況と今後の動向
④今後の動向と従業員規模
⑤業務アプリケーションと従業員規模
⑥業務アプリケーションと停止許容時間
⑦停止許容時間と追加費用
⑧クラウド利用状況と追加費用

目次

P16